

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度令和2年度

市町村名	加須市					
提案事業名	合併10周年記念事業「みんなで祝う・楽しむ・始まる」					
事業期間	令和元年度 ～ 令和元年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 各種事業への参加者数(利用者数)					
	(成果検証の具体的な方法) 平成27年3月に実施した合併5周年記念事業の各種事業への参加者数(利用者数)を比較し、その数値及び原因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	(A) B C
	従前値 (令和元年3月時点)	8,495	目標値 (令和2年3月時点)	11,000	実績値 (令和2年3月時点)	89,118
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市報およびホームページで公表する。				

【事業効果の整理・原因分析】

令和元年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① こいのぼり手ぬぐい作成事業	◎ △ ×	枚数限定の特別デザインのこいのぼり手ぬぐいを制作・販売し、合併10周年をPRすることで、各種事業の参加者増加に寄与した。
② こいのぼり掲揚ポール設置事業	◎ △ ×	市役所本庁舎と各総合支所にこいのぼりの掲揚ポールを設置し、通年でこいのぼりを掲揚することで、市全体の共通資源としての定着を図った。 また、こいのぼりのまちをPRすることにより、加須市の魅力を再発見し、市民の郷土愛を醸成することに効果があった。
③ 道路愛称名募集	◎ △ ×	身近な道路の愛称を募集することで、市民と協働でのまちづくりを推進し、生活の利便性と共に道路に対する親近感を高め、郷土愛を育む効果が認められた。
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	合併10周年の事業は参加者が目標値を大きく上回り、行政と市民が協働でまちづくりを推進していくことや地元の魅力を再発見することで、市民の郷土愛の醸成に大きな効果があったと認められる。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染予防の観点から、3月に予定していた記念式典、記念公演等のイベントを実施することができなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今回の事業は、新たな試みの事業が多かったため、多くの市民に御参加いただくことができた。 次回の記念事業でも、より多くの市民の参加が見込まれるような新たな事業を展開していく。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない